

岩手県議会議場演壇等改修業務仕様書

1 総則

(1) 業務名

岩手県議会議場演壇等改修業務

(2) 目的

本業務は、岩手県議会の議場に設置している既存の原稿台を電動昇降式の仕様に改修するとともに、新たに電動昇降式の発言台を設置し、議会運営の円滑化及び効率化を図ることを目的とする。

(3) 履行場所

岩手県議会議事堂（本会議場）

2 業務内容

本業務の内容は以下のとおりとする。

(1) 原稿台の改修

ア 既存の原稿台を電動昇降式の仕様に改修すること。

イ 本会議場における原稿台の改修作業は、原則、議会閉会中とすること。

ただし、やむを得ない事情により当該期間中の改修が困難である場合、工期の変更について発注者と協議を行うこと。

【原稿台の仕様】

① 既存の原稿台の昇降可動範囲については、下限 40 ミリメートル、上限 200 ミリメートルを備えること。

② 昇降の操作方法については、発言者が演台で操作を行うことができる仕様に加え、事務局が遠隔での操作が可能な仕様とすること。

③ 演台（電動式）での操作については、ボタン式又はレバー式を採用すること。

④ 事務局での遠隔操作については、リモートコントローラーによるものを採用すること。

⑤ 演台への加工範囲については、W800 ミリメートル×D440 ミリメートル以内とすること。

(2) 発言台の設置

ア 電動昇降式の発言台を設置すること。

イ 本会議場における発言台の設置作業は、原則、議会閉会中とすること。

ただし、やむを得ない事情により当該期間中の工事完了が困難な場合、工期の変更について発注者と協議を行うこと。

【発言台の仕様】

① 発言台の昇降可動範囲については、床面から下限 800 ミリメートル、上限 1,080 ミリメートルを備えること。

② 発言台の規格については、W1,200 ミリメートル×D700 ミリメートルとすること。

③ 発言台（電動式）の操作については、ボタン式又はレバー式を採用すること。

(3) 議場放送システムとの調整

ア 改修した原稿台について、音声及び映像等との各種調整を行うこと。

イ 発言台について、音声及び映像機器等との各種調整を行うこと。

ウ 調整作業終了後、発注者が委託している保守・管理業者から確認を受けること。

(4) 原稿台及び発言台の操作方法支援

ア 本業務の履行完了時に発注者の担当者に操作方法の説明を行うこと。

イ 操作方法マニュアルを作成し、岩手県議会事務局に対し、書面 1 部及び電子データで納品すること。

3 履行期間

契約締結日の翌日から令和 6 年 2 月 12 日まで。

ただし、当該期間中に臨時会等が開催され、議場を使用することとなった場合、履行期間が変更となる場合がある。

4 その他

(1) 機器等の設置位置については、他の機器との兼ね合い等を考慮し、発注者の承認を得て行うこと。

(2) 作業終了後は、新規の設置機器及び既存の機器等との動作試験を行い、問題なく動作することを確認すること。

(3) 作業時間は、原則 8 時 30 分から 17 時 00 分までとする。

(4) 設置は、あらかじめ各機器等の搬入経路等、現場の状況を十分に調査し、作業計画、工程、人員及び搬入経路等の必要事項を記載した計画書を作成し、発注者へ提出のうえ、十分に打ち合わせし、行うこと。なお、設置の際に県庁舎、議会棟及び既存の機器等に損害を与えた場合、受注者の責任において修復すること。

5 一般仕様

(1) 法令、規定、基準の順守

業務の履行に伴い、適用を受ける法令、規定及び指針等については、これを遵守し、遺漏のないように努めること。

(2) 一般管理

受注者は、業務の履行に当たり、データの漏洩、データの滅失、事項等の予防に十分留意し、業務の信頼性、安全性の確保に努めなければならない。

(3) 業務責任者

受注者は、業務を実施するにあたって業務責任者を定め、その氏名を発注者に通知するものとする。

業務責任者は、業務実施中に業務従事者を指揮し、発注者の担当者と連絡を密にし、遺漏のないように努めること。また、業務責任者及び業務従事者は、業務を遂行するために要求される十分な知識及び技能を備えていること。

6 注意事項

- (1) 本業務を受注する者は、本仕様書の全ての事項に対し、責任を持って完全に契約を履行すること。
- (2) 受注者は業務上知り得た情報を第三者に開示又は漏洩してはならない。